

Index of /oracle
../
EL5/ オラクルのバージョンを選択する
OL6/ 通常は、最新バージョンにする
OL7/



Index of /oracle/OL7/
../
U4/ オラクルのバージョンの枝番を選択する
U5/ 通常は、最新バージョンにする
U6/



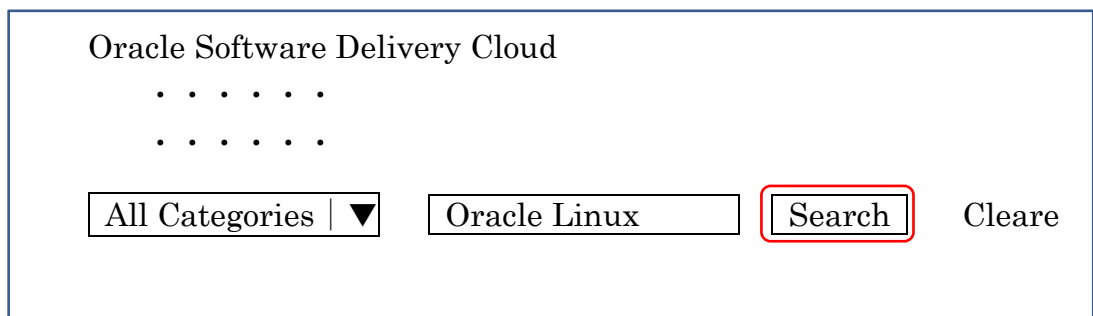
Index of /oracle/OL7/u6/
../
source/ CPU のチップ型を選択する
x86_64/ Intel 系は、x86_64 にする



Index of /oracle/OL7/u6/x86_64/
../
OracleLinux-R7-U6-Server-x86_64-dvd.iso 04-Nov-2018 01:39 4.3G
x86_64-boot-uek.iso 04-Nov-2018 01:41 606M
x86_64-boot.iso 04-Nov-2018 01:40 578M

Linux インストール用 ISO ファイル

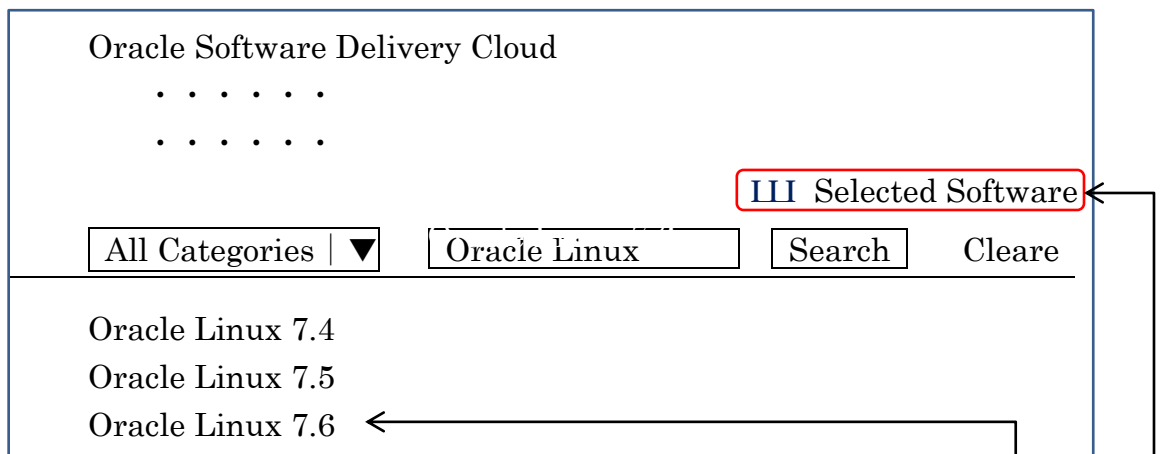
<https://edelivery.oracle.com/osdc/faces/SoftwareDelivery>



検索文字として、Oracle Linux を入力して、Search ボタンをクリックする



<https://edelivery.oracle.com/osdc/faces/SoftwareDelivery>



検索文字にヒットしたソフトウェアの一覧が表示されるので、ダウンロードしたいバージョンの Linux をクリックする

次に、III Selected Software をクリックする



ソフトウェアに☑チェックを入れ、Platform 欄で、x86_64 を選択する

選択したプラットフォームに対して、用意されているファイルの一覧が展開されて表示される

<input type="checkbox"/>	Oracle Linux 7.6	
<input type="checkbox"/>	Oracle Linux 7.6.0.0.0 for x86 64 bit	
<input type="checkbox"/>	V980448-01.zip	Oracle Container Services for use with Kubernetes 633.2 MB
<input type="checkbox"/>	V980449-01.iso	Oracle VirtIO Drivers for Microsoft Windows 59.2 MB
<input type="checkbox"/>	V980466-01.iso	Oracle Linux Release 7 Update 6 Boot ISO image 578.0 MB
<input type="checkbox"/>	V980467-01.iso	Oracle Linux Release 7 Update 6 UEK Boot ISO 606.0 MB
<input type="checkbox"/>	V980468-01.iso	Oracle Linux Release 7 Update 6 source DVD 1 3.5 GB
<input type="checkbox"/>	V980469-01.iso	Oracle Linux Release 7 Update 6 source DVD 2 4.4 GB
<input checked="" type="checkbox"/>	V980739-01.iso	Oracle Linux Release 7 Update 6 for x86 (64 bit), 4.3 GB

必要なファイルにチェックを入れて、Download ボタンをクリックすると、ファイルがダウンロードされる

Linux インストール用ファイルは、これ

※ Oracle のコミュニティのページから、ダウンロード・ミラー・サイトを辿ってダウンロードしたファイル (OracleLinux-R7-U6-Server-x86_64-dvd.iso) と Oracle のソフトウェア提供ページからダウンロードしたファイル (V980739-01.iso) は、名前は異なるが中身は同じものである

インストール媒体作成方法

手順1.

Rufus サイト (<https://rufus.akeo.ie/>) から、Rufus 実行モジュールをダウンロードする

手順2.

ダウンロードしたファイルを実行する

ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合には、管理者として実行するために「はい」をクリックして許可をする

初回のみ、以下のダイアログが表示される

Rufus の更新ポリシー

オンラインで行われるアップデートの自動確認機能を有効にしますか

起動した時の初期画面

Rufus

ドライブ・プロパティ _____

デバイス |▼

ブート種類

|▼

パーティション構成 ターゲットシステム

|▼ |▼

フォーマット・オプション _____

ボリュームラベル

ファイルシステム クラスタサイズ

|▼ |▼

手順 3.

必要事項を入力する

デバイス： USB 起動させるために使用する USB 機器の名前を選択
ブートの種類： ダウンロードした ISO イメージファイルを選択
パーティション構成： MBR
ターゲットシステム： BIOS または UEFI
ボリュームラベル： 任意
ファイルシステム： FAT32
クラスターサイズ： 4096

すべて入力したら、**スタート** をクリックする

手順 4.

書込みモードの選択を行う

ISOHybrid イメージを検出しました

選択されたイメージは、ISOHybrid です
ISO イメージ (ファイルコピー) または、DD イメージ (ディスクイ
メージ) で書き込むことができます
.....
ブート中にエラーが発生する場合には、DD イメージで再度試してみ
てください

ISO イメージモードで書き込む
 DD イメージモードで書き込む

OK キャンセル

ISO イメージモードを選択して、**OK** をクリックする

処理が完了したら、起動 USB の完成である